

群馬県がん患者団体連絡協議会

ニュースレター♪



健康づくり財団のまわりの
田んぼがコスモス畑に
変身！ただいま満開です

主な記事

- ◇ がん連協「がん征圧月間共同キャンペーン」を開催しました
- ◇ がん患者大集会より「記念アピール」の紹介
- ◇ 掲示板（行事のお知らせ）

2008年10月1日 第10号

編集・発行/(財)群馬県健康づくり財団



♪がん征圧月間共同キャンペーン 実施しました♪



平成20年9月27日(土)、グリーンドーム前橋において「ハワイアンinグリーンドーム1000人フラ」が開催され、ここにがん連協が参加し、昨年引き続き共同キャンペーンを実施しました。

今回のイベントは「乳がんの早期発見・早期治療の大切さを訴えるピンクリボン運動」を中心に行われ、会場には色とりどりの衣装をまとった女性が集まり、日頃の成果を発揮しフラダンスを踊っていました。

がん連協は午前から4ブロックに分担してキャンペーンに参加していただきました。グッズや乳がんの自己検診法のリーフレットを配布しながら、ブースには乳がんの触診モデルを展示。DVDを流したり、群馬がん看護研究会会員さんが来場者に方法を説明したり、患者会が自己検診の方法を説明しました。いずれも来場者の関心は高く、マンモグラフィー検診の話や、体験談などを自らお話しされたり、各団体会員ともにぎやかに会話していました。

参加者は延べ64名。群馬大学保健学科 神田先生や二渡先生、学生のみなさんもお手伝いにかけて下さり、親睦を深めました。各会のみなさん、お疲れさまでした。



PRタイムに参加し、早期発見・早期治療の大切さを会場のみなさんに訴えました。(ひまわりの会の藤江さんと根岸さん)



午後いちばんの担当は乳がん患者の会のみなさん。ブースの中も外もにぎやかに盛り上がりました。



乳がんモデルに集まってきた女性に自己検診法を説明。多くの方が足を止め、会員と話をしたり、自身の経験について話をしてくれました。

がん患者大集会 記念アピールの紹介



平成20年9月22日(月)群馬県民会館で開催された群馬県がん患者大集会において、記念アピールが採択されました。患者会の方のご協力を経て、文章を練り直し、群馬県のみならず、全国に伝えたい内容になりました。

ここに全文を紹介し、一人でも多くの方に知っていただきたいと思います。
また、当日ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

記 念 ア ピ ー ル

がんを得ながら健康を取り戻し、あるいは小康を得た患者も、さまざまな苦痛や不安を抱えながら、今まさに治療に取り組んでいる多くの患者も、みなさんの地域で、共に暮らしています。地域のがん医療の向上はたんなる願望ではなく、明日の暮らしのよりどころです。

群馬県がん患者大集会の本日、以下のことを提案します。

- ① 県内どこにいても安心して最良の医療が受けられる体制の整備。そのためにも、医療機関や医療従事者のネットワークを充実させてください。
- ② 気軽に立ち寄れる『がん相談支援センター』の整備。そこでは、分かりにくい医学用語や治療方法の解説、困りごとや悩みごとの相談に対応してください。
- ③ 仲間づくりや情報交換に役立つ「患者サロン」について、みんなで考えましょう。病院や関係機関の皆さんは活動場所の確保や専門知識の提供など、「患者サロン」の設立を応援してください。
- ④ 早期発見・治療に向け、みんなでがん検診を受けましょう。行政はがん検診受診率50%の実現に向けイニシアチブを発揮してください。
- ⑤ 若者が新たにタバコを吸い始めない環境の整備。学校、大学、事業所は喫煙防止と禁煙の支援に特段の努力を注いでください。

最後に患者から患者へのエールを送ります

「そこそこでいいから、前向きに生きて行こう。がんをかかえ、不安や悩みをかかえながらも、それなりに社会で生活して行こう。社会と関わり、経験を分かち合うことが、次の患者と明日の社会に勇気を与える、がん患者にしかできない社会貢献なのです」

平成20年9月22日 群馬県がん患者大集会 参加者一同



掲示板



今回はちょっと番外編です

◇がん患者さん・家族を支援するためのコミュニケーション講座研修に参加して

去る平成20年10月5日(日)10時～12時に群馬大学保健学科 大学院講義室において群馬大学保健学科・群馬大学医学部附属病院腫瘍センター主催のコミュニケーション講座が開催され、がん連協からは群馬ホスピスケア研究会の吉本事務局長が講師として参加された他、いくつかの加盟団体の会員さんも参加しました。

実際に患者や家族に接したり相談を受けている経験豊富な講師から、相談に応じる時のよりよいコミュニケーションの方法について丁寧に詳しく教えていただきました。一人ひとりの物事に対する反応が違うように、がんにかかったときも感じ方、とらえ方がそれぞれ違います。私たちは家族や友人ががんになった時、どのように話を聞き、気持ちをわかちあうことができるのでしょうか。自分自身の心とも向き合うことのできた2時間でした。これからも引き続き、コミュニケーション講座が開設されるとのこと。また参加したいと思います。(編集)



吉本さんからはご自身の相談経験から印象深いお話を聞くことができました。



二渡先生から修了証が渡されました。代表受領はひまわりの会 一柳会長です。

【群馬県がん患者団体連絡協議会 事務局】

〒371-0005 前橋市堀之下町16-1
(財)群馬県健康づくり財団 総務部 総務課

電話027-269-7811・FAX027-269-8928
E-mail soumu3@gunma-hf.jp

半年ほど時間がかかりましたが、職場の人とリンパマッサージの講習に通い、フットとハンドの講座を修了することができました。医療関係の方をはじめ、たくさんの仲間と知り合い話げできたことは本当によい経験でした。

編集担当 事務局 荒木美保

